

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続 継続 主要事業 ○ 事業コード 2030326

➡【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
教育委員会	教育総務課	施設班

事業(予算)名 中学校施設バリアフリー化推進事業

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(3) 学校施設等の整備・機能更新						
予算科目	会計	一般	款	9	項	3	目	1
関連計画・根拠法令等	富里市学校施設バリアフリー化推進整備計画, 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	平成29年度				平成30年度	富里中学校のバリアフリー化終了による。ただし、富里北・南中の事業実施時には再開する。		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	エレベーターは市内3中学校に設置されていない、また、スロープの設置や段差解消の必要があるなど対策の必要な状況あり、現在は複数階の移動などに困難が生じている。						
	対象(誰・何を)	学校施設のバリアフリー化 生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	中学校(富里中学校)にエレベーターやスロープ等の設置工事を行い、移動が困難な生徒等が学校内を安全で安心して過ごすことができるようする。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	専門業者(有資格)による工事となることから						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	
中学校エレベーター設置(実施設計)	校	1			富里中学校のエレベーター設置を目的としていることから
中学校エレベーター設置(工事)	校		1		富里中学校のエレベーター設置を目的としていることから
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		()			
		()			
		()			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
中学校施設バリアフリー化推進事業	教育委員会	教育総務課	施設班

進捗状況	指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	中学校エレベーター設置(実施設計)	校	—	—				
	中学校エレベーター設置(工事)	校	—	—	1			
			—	—	—	—	—	—
活動指標*	中学校エレベーター設置(設計)	校	1	1	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—
成果指標*	中学校エレベーター設置(設計)	校	1	1	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	平成30年度の当該工事を行うための、設計及び積算ができた。
平成29年度	実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続	
	今後の方針の理由及び今後の予定	平成30年度に当該工事を実施する。	
平成30年度	事業効果		
	判断理由		
	実績値を踏まえた今後の方針		
	今後の方針の理由及び今後の予定		
平成31年度	事業効果		
	判断理由		
	実績値を踏まえた今後の方針		
	今後の方針の理由及び今後の予定		

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2030326
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
教育委員会	教育総務課	施設班

事業(予算)名	中学校施設維持管理事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(3) 学校施設等の整備・機能更新						
予算科目	会計	一般	款	9	項	3	目	1
関連計画・根拠法令等	中学校施設整備指針、各設備点検等に係る法令など							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	毎年度中学校施設の点検、修繕、工事等を行い、維持管理している。 平成30年度は、富里南中学校開校より課題となっていた雨水排水対策工事を行う。						
	対象 (誰・何を)	雨水排水 生徒、教職員、保護者、地域住民・地権者等の多様な人々						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	中学校(富里南中学校)に雨水排水対策工事を行うことで、グランド排水の処理、道路冠水対策等の災害対策ができる。これにより生徒、近隣住民、隣接地権者及び下流の住民、地権者が安全で安心して過ごすことが出来るようする。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由	専門業者(有資格)による工事となることから						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
中学校雨水排水(工事)	校	-	1			富里南中学校の雨水排水対策を目的としていることから
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
中学校施設維持管理事業	教育委員会	教育総務課	施設班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	中学校雨水排水(工事)	校	—	—	1				
			—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—		
第三次実施計画	活動指標*	市立中学校数	校	3	3	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	市立中学校数	校	3	3	—	—	—	—
		施設管理の不備による生徒の負傷	人	0	0	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	中学校施設及び設備の安全、保健衛生及び管理上適切な機能を維持するための管理を行う安全・安心な施設環境確保及び維持管理や設備更新の容易性を確保
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	安全・安心な施設環境確保及び維持管理や設備更新の容易性を確保する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2030426
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
教育委員会	教育総務課	総務班

事業(予算)名	小学校一般管理事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(4) 信頼される学校づくり						
予算科目	会計	一般	款	9	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	学校教育法第5条							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	学校の規模に変動が生じ、学校配当額や支出費目について毎年度見直しを行う必要がある。						
	対象(誰・何を)	市立小学校7校						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市立小学校を運営するための委託費の支払、消耗品の購入、光熱水費の支払に係る執行管理を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
児童数	人	2,281	2,304			配当予算の適正化
学級数	学級	98	103			配当予算の適正化
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
小学校一般管理事業	教育委員会	教育総務課	総務班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	児童数	人	—	—	2,304		
	学級数	学級	—	—	103		—
			—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	児童数	人	2,304	2,277	—	—
		学級数	学級	103	99	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	予算額に対しての決算額の割合	%	95	96	—	—
				—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	適切な予算執行をし、指標をほぼ達成している。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市立学校を運営するための学校用務員の手配、消耗品の購入、光熱水費の支払い等に係る執行管理を継続して行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2030426
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
教育委員会	教育総務課	総務班

事業(予算)名	中学校一般管理事業
---------	-----------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(4) 信頼される学校づくり						
予算科目	会計	一般	款	9	項	3	目	1
関連計画・根拠法令等	学校教育法第5条							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	学校の規模に変動が生じ、学校配当額や支出費目について毎年度見直しを行う必要がある。						
	対象(誰・何を)	市立中学校3校						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市立中学校を運営するための委託費の支払、消耗品の購入、光熱水費の支払に係る執行管理を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
児童数	人	1,223	1,284			配当予算の適正化
学級数	学級	45	47			配当予算の適正化
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
中学校一般管理事業	教育委員会	教育総務課	総務班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	生徒数	人	1,284	1223	1,284		
	学級数	学級	47	45	47		
			—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	生徒数	人	1,284	1,223	—	—
		学級数	学級	47	45	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	予算額に対しての決算額の割合	%	95	95	—	—
				—	—	—	—
				—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	適切な予算執行をし、指標をほぼ達成している。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市立学校を運営するための学校用務員の手配、消耗品の購入、光熱水費の支払い等に係る執行管理を継続して行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	